

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 巧文



■ 職員の待遇

公務員の待遇(給与)は、国も地方もあまり政治的に左右されないよう、国は人事院、都道府県は人事委員会という第三者機関の勧告を尊重する形で決定する仕組みがとられてきました。

本市の場合、山口県人事委員会の勧告をベースにしつつ、人事院の勧告内容や県下他市の状況、本市の団体交渉の推移などで多少修正する方法をとってきましたが、マスコミなどでは常に国との比較、特にラスパイレス指数(国家公務員と地方公務員の給料水準を比較する際の指数)が問題視されることから、平成26年度からは、すべて人事院勧告に従い、給料その他の諸手当を決定することにしました。合併後10年を経て、まだ是正できていない項目もありますが、少しずつ全面解決に近づいています。

■ レノファ山口

「レノファ山口」は、山口県初のプロスポーツの誕生を目指して、現在JFL(日本フットボールリーグ)に所属しているサッカーチームです。

本市は、今年の4月から、文化・スポーツに関する事務を教育委員会から市長部局に移管し、これまで以上に力を入れて、「文化・スポーツによるまちづくり」に取り組んでいます。たまたま、時期を同じくして、「レノファ山口」応援の話が飛び込んできました。

Jリーグは「DO! ALL SPORTS」(あらゆるスポーツをみんなで楽しんで、健康で豊かな生活を送ろう)を「百年構想」に掲げています。日ごろ触れ合う機会の少ない選手と市民が各種の交流を持つことで、笑顔で生き生きとした時間を過ごすことができる。また、サッカーという競技スポーツを応援するのではなく、「レノファ山口」というプロチームを市民挙げて応援することにより、本市の一体感の醸成がさらに図れるのでは…。この8月、本市を来訪されたチェアマン(Jリーグ代表者)の講演を聞きながら、そんな想いを強くしました。

本市の市議会にも、議員の応援団ができました。

「レノファ山口」は、今は言わばJリーグの4部。3部以上がいわゆるプロだそうですが、今季のがんばりで来シーズンの3部(日本プロサッカーリーグ。略して「Jリーグ」のJ3)入りがほぼ決まりました。

みなさん、どうか一緒に「レノファ山口」を応援しませんか。

■ 一行詩

「市長は多数の市民が選び、

議員は多様な住民から選ばれる」

「議会の大きな特徴は多様性であり

住民の縮図である」

(ある講演会から)